

令和元年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成31年4月1日～令和2年3月31日

施設名	大和市柳橋ふれあいプラザ
指定管理者	株式会社オーエンス 代表取締役 大木 一雄
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・施設の運営

開館状況：毎週月曜日、月曜日が国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは当該日の直後の休日でない日、大和市民まつりの日、
年末年始(12月29日～1月3日)及び施設点検日を除く毎日。

なお、令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月1日から31日まで1か月間臨時休館しました。

開館日数：279日（平成30年度開館日数232日）

開館時間：午前10時～午後9時

・施設使用の受付

年間使用者数

総使用者数	57,353人
浴室使用者数	33,788人

・使用者へのサービス

加湿器設置、老眼鏡設置、手指消毒用アルコール設置、談話室に上着掛けを設置、雨天時入口足拭きマット設置、雨天時傘の取違い防止のための氏名記入用紙・テープの設置、傘の貸し出し、自転車空気入れの貸し出し、携帯カレンダー発行、利用者から提供を受けた作品等のロビー展示など。

・施設の補修、改善

浴室脱衣所椅子の増設、入口足拭きマットを躓き防止テープで接着、バレルローラー椅子及び浴室脱衣所椅子に転倒防止用滑り止めシートを貼付、館内消臭剤の設置・交換、館内害虫駆除剤の設置・交換など。

・自主事業の実施(催事開催11件・531名参加)

事業名	開催日時	参加者数
ふれあい健康体操	4月21日(日)10時～12時	40名
ふれあい落語会	5月18日(土)13時30分～16時	63名
	10月19日(土)13時30分～16時	50名
ふれあい保健室	6月12日(水)10時30分～12時	16名
	11月21日(木)10時30分～12時30分	15名
料理教室	7月24日(水)10時30分～13時	10名
	1月23日(木)10時30分～13時	17名

事業名	開催日時	参加者数
映画会～ふれあいシネマ～	8月24日(土)14時～16時01分	49名
ふれあい秋まつり	9月29日(日)11時～16時	204名
カラオケ発表会	12月14日(土)12時～16時	48名
ふれあい将棋大会	2月16日(日)10時30分～16時	19名

【事業実施状況に関する補足説明】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1か月館休館したものの、年間総使用者数は、空調設備改修工事のため3か月休館した前年度に比べて8,927人(約18%)増加しました。
- ・1日あたりの平均総使用者数は206名であり、前年度に比べ3名減少しました。
新規に利用者カードを作成した人数は259名であり、前年度の235名と比べ、24名増加しました。
- ・浴室使用者数は、前年度に比べ4,324名(約15%)増加しました。
浴室1日あたりの平均使用者数は約121名で、前年度に比べ6名減少しました。
- ・会議室等使用者数は、前年度に比べ2,595名(約30%)増加しました。会議室等の1日あたりの平均使用者数は約41名で、前年度に比べ3名増加しました。
- ・使用料収入の総額は、2,118,650円となり前年度の1,673,675円に比べ444,975円(約27%)の増収となりました。なお、この使用料収入は市の歳入になります。
- ・自主事業(催事)参加者の合計人数は531名で、前年度の602名より71名減少しました。
1件あたりの平均参加者人数は約48名で、昨年度の約60名より減少しています。

2. 収支決算概要

(単位: 円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	15,696,000	人 件 費 (指定管理者が雇用した社員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	13,535,747
そ の 他	0	施設管理費等 (施設の清掃や、保守点検、修繕に支出した金額)	1,591,516
収入計 (①)	15,696,000	支出計 (②)	15,127,263

収支決算 (①－②)	568,737
------------	---------

【収支決算に関する補足説明】

- ・収入については、前年度に比べ2,693,880円増加しました。理由は、前年度は3か月間の休館に伴う指定管理料の減少があったためです。
- ・支出については、前年度に比べ2,498,827円増加しました。主な理由は、前年度は3か月間の休館に伴う人件費及び事業費の減少があったためです。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和2年7月16日に大和市環境審議会からの意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を使用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか

- ・施設の使用許可事務については、書類審査の結果、条例等に則り適切に行われていることが確認できました。
- ・自主事業については、「健康体操」「映画会」「秋まつり」「落語会」「将棋大会」「カラオケ発表会」など、年齢を問わず楽しめる事業を展開しています。周知にあたっては、施設内での掲示や利用者へのチラシ配布のほか、近隣自治会へのポスター掲示や回覧チラシでの案内、広報やまとへの掲載など、外部への広報活動も取り入れました。
- ・利用者の要望を日頃からこまめに聞き取り、要望に応じた備品を設置するなどの取り組みを行ったほか、催事ごとに参加者へのアンケートを実施し、その意見を事業に取り入れるなどサービスの向上に努めました。

評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか

- ・「健康体操」「落語会」「映画会」が前年に続き好評でした。また、休館のため1年ぶりに開催した「カラオケ発表会」も好評で、いずれも恒例行事として定着しています。
- ・「ふれあい秋まつり」では、年齢を問わず楽しめる「めだかすくい」のコーナーを設け、幼児連れの家族など多くの参加を得ました。当行事のためにプラザに来館した人数は日頃の利用者の数を大幅に上回り、施設の認知度を高める主要行事となっています。
- ・利用者から、絵画、写真、植物、手工芸品等の作品の提供を受けて季節に合わせて館内に展示したことで、芸術鑑賞の機会を創出するとともに、利用者の施設への愛着を深め、作品作りに励む各種サークル等の活動の活性化にも寄与しました。
- ・施設の設置目的を踏まえ、今後も市民の健康増進、福祉、交流活動に貢献するコミュニティ施設としての事業運営に期待します。

評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか

- ・施設の管理、保守点検等は仕様書に沿って適切に行われています。
- ・浴室については、定期的に水質検査等を実施し、衛生面の管理を適正に行っています。
- ・浴室ロッカーの鍵やドライヤーなど使用頻度の高いものは点検を行い、積極的に修繕をしています。また、談話室座布団カバー等の交換クリーニングなど衛生面にも配慮しています。
- ・節水や節電、資源の分別に取り組むとともに、掲示物などで利用者に対しても環境負荷低減の周知を図っています。

評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

- ・浴室使用者に、受付での声掛けや掲示物などでの注意喚起を行っているほか、ロビーに設置した血圧計の利用促進、浴室内での巡視など、適切な人員配置により利用者の安全確保に努めています。
- ・日本赤十字救急法救急員やサービス介助士2級などに認定された従業員を配置するとともに、認定資格の更新や新たな講習会参加や研修を積極的行っています。また、館内の非常設備やAED等の点検を毎月行い、緊急時に迅速かつ適切に対応できる体制づくりに努めています。
- ・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況であると判断しています。また、指定管理者本社経理部門の内部監査員による定期監査の実施など、適正な管理を行っています。